

第 78 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 構造分科会 議事録

1. 日 時:2013 年 11 月 6 日(水)13 時 30 分～17 時 05 分
2. 場 所:日本機械学会 第 2 会議室
3. 出席者:飯田(東電)、西野(配管技術研究協会)、西田(三菱重工)、根岸(関電)、高野(中電)、谷口(川崎重工)
代理者:なし
欠席者:島田(東芝)、小高(富士電機)、堤田(日立)
オブザーバ:堀(ハブコック日立)、大橋(IHI)
事務局:海野(記)

4. 配布資料

- 78-1 . 第 77 回構造分科会議事録(案)
- 78-2 . 構造分科会委員名簿
- 78-3 . 第 65 回火力専門委員会議事録(案)
- 78-4 . 第 66 回規格委員会議事録(案)
- 78-5 . 火力専門委員会書面投票結果報告
- 78-6 . 審議レビュー票

5. 議題

(1) 前回議事録確認

[資料 78-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 78-2]

新任候補として大橋氏(IHI)、豊嶋氏(ハブコック日立)が推薦され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。再任候補として西田委員の再任意向が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、堀委員の退任が報告された。

西田幹事の委員再任に伴い、幹事の互選が行われ西田委員が再任候補として出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料 78-3]

第 65 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認
- ・ 第 77 回構造分科会報告
- ・ 火力専門委員長改選手続きについて
- ・ 発電用設備規格委員会倫理規定案の書面投票入り審議について

- ・ 委員会資料の取り扱い内規案の書面投票入り審議について

(3-2) 規格委員会報告

[資料 78-4]

第 66 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 公衆審査のWEB化について
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3-3) 火力専門委員会書面投票結果報告

[資料 78-5]

火力専門委員会にて書面投票を行った3件について結果を報告した。

◎ 書面投票番号: No. 61

投票議案名: 「日本機械学会 発電用設備規格委員会 補足倫理規定案」の承認

書面投票期間: 2013年9月12日～2013年10月15日

投票結果: 可決

投票成立: 委員総数の5分の4以上(20 票)の 23 票の投票があり, 投票成立

投票採決: 投票数の3分の2以上(16 票)の 22 票の賛成票があり, 意見付反対票がなかったため, 投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中	賛成 22 名
	反対 0 名
	保留 1 名
	不投票 1 名

◎ 書面投票番号: No. 62

投票議案名: 「規格委員会等での資料の取扱い内規の提案」の承認

書面投票期間: 2013年9月12日～2013年10月15日

投票結果: 可決

投票成立: 委員総数の5分の4以上(20 票)の 23 票の投票があり, 投票成立

投票採決: 投票数の3分の2以上(16 票)の 23 票の賛成票があり, 意見付反対票がなかったため, 投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中	賛成 23 名
	反対 0 名
	保留 0 名
	不投票 1 名

◎ 書面投票番号: No. 63

投票議案名: 次期火力専門委員会委員長の選任

書面投票期間:2013年10月4日～2013年10月18日

投票結果:可決

投票成立:委員総数の5分の4以上(20 票)の 23 票の投票があり, 投票成立

投票採決:投票委員の過半数以上 (12 票以上) である 22 票の投票を得た小溝裕一候補が選任された。

<投票内訳>

委員 24 名中

小溝 裕一 候補 : 22 票

飯田 英男 候補 : 1 票

不 投 票 : 1 票

(4) 審議事項

(4-1) レビュー票審議

[資料 78-6]

(4-1-1) 前回レビュー票審議のフォロー

◎IV 章

- ・ UG-81～103
 - ・ UG-100(b)は「3-2 で規定される計算試験圧力の基礎値の 1.25 倍を超えないこと」に修正する
- ・ UW-1～15
 - ・ UW-2(b)(1)の UHA 引用部分については、使用されない材料(UHA)であり JSME では取り入れていないため削除する
- ・ UF-1～125
 - ・ UF-5(c)(d)の SA-372Gr.L 材料はⅡ章取入れ済のため取入れる
 - ・ UF-5(c)の「654MPa 未満」を「655MPa 以下」に修正する
 - ・ 「UF-5(c)(d) -28℃」を「UF-5(d) -29℃以下」に修正する
- ・ APPENDIX 6～12
 - ・ 「applicable」「proof test」は用語集取入れ済を確認
- ・ APPENDIX 31～32,A～K, KK
 - ・ A-KK 使用者のための設計要求書式例の表について日本語版を作成し、それを元に取り入れ可否を再審議する

(4-1-2) 今回レビュー票審議

担当委員の作成した以下のレビュー票案について審議した。

◎Ⅲ 章

- ・ PG-7(堀氏:バブコック日立)
 - ・ PG-27.1 一段落目に追加の“Shells”は用語集の通り「胴」とする, “local thin area”の表現は A-IV と統一するように調整, 「強制的 APPENDIX」の「強制的」は削除する
 - ・ PG-27.2.2 追加用語「胴」を追記, 項目記号「PG-27.2.2」を追記
 - ・ …PG-27.4.1 項目記号「PG-27.4.1」を追記
- ・ PFH-1(飯田主査)

- ・ 「本章の配管の適用範囲制限内」は「本章の配管の適用範囲内」に修正する

◎IV章

- ・ UHX-15～18(西田幹事)
 - ・ UHX-17“Flanged-and-Flued expansion”の適切な和訳について各委員にて確認する
- ・ APPENDIX 31～32,A～K,KK(飯田主査)
 - ・ A-A-3(b),(e)「溶解」→「溶塊」に修正する
- ・ APPENDIX L(西田幹事)
 - ・ レビュー票審議(A-L)実施

◎V章

- ・ 105～118(谷口委員)
 - ・ 108.1～108.5.1 は変更無いが、201X 版案に記載漏れのため反映実施
 - ・ 108.6.1(C)ナット種別について JIS 材使用を考慮して記載を検討とする
 - ・ 115.4「抜き取り検査をすること」が主旨となるように修文を検討とする

これら、本日審議を行ったレビュー票について、後日でも気が付いた所があれば、その都度、メールで連絡することとした。

(4-1)ASME B31.1 の引用年版について

[資料無し]

火力専門委員会では、次回改訂における ASME の引用年版は 2011 版(Addenda)とすることとして作業を開始した。しかし、ASME B31.1 は 2010Edition に対して 2011 Addenda が発行されなかったことから、構造分科会では B31.1 については、2010 年版でこれまで作業を進めてきた。

前回火力専門委員会において、材料分科会では次回改訂版の B31.1 の引用年版を 2012 年版とする方針が報告されたことから、構造分科会として、B31.1 の引用年版を 2012 年版に変更するべきかどうかを審議した。

現状、まだ 2012 年版の内容を確認できていないため、まずは内容を確認することとし、その上で、技術的な変更の有無の程度による必要性や、追加作業量の程度によって、再度、引用年版について審議し、必要に応じて今後、材料分科会と調整することとした。

6. 次回開催予定

日 時:2014 年 2 月 5 日(水)13 時 30 分～17 時 00 分

場 所:日本機械学会 第2会議室

以 上